

## 「北海道環境産業振興戦略（仮称）」骨子（案）について

平成24年1月10日

経済部環境・エネルギー室

## 第1章 戦略策定の基本的考え方

## 戦略策定の背景

- 世界：地球環境、新興国の急成長、資源問題
- 国：環境・エネルギーを新しい成長の柱に
- 北海道：「北海道洞爺湖サミット」開催  
→環境のフロントランナーを目指した取組を推進
- 3.11の大震災  
→国のエネルギー政策の見直し、国民の新エネに対する期待と関心の高まり  
→産業界での製造拠点の分散化や海外移転検討

## 戦略策定の必要性・目的

## 《必要性》

- 「低炭素」「循環型」「自然共生」「安全安心」な社会の実現に貢献
- 産業界、研究機関、地域などが方向性を共有、連携した取組を進めていけるよう道として戦略を策定

## 《目的》

- 環境産業を経済活性化に向けた推進エンジンのひとつとして育成・振興を図る

《期間》 平成27年度までの5年間

## 第2章 現状・課題とめざす姿

## 課題

- 北海道の強みを競争力の強化につなげていくことが必要
- 収益力に課題、地域社会全体の取組による対応が必要
- 中小企業者が多く単独では事業展開力に限界

## めざす姿

- 《産業》世界を視野に飛翔する環境産業群の形成
- 《地域》地域に広がる多様な環境ビジネスの創出
- 《社会》環境と経済の調和を目指す社会の仕組みづくり

## 第3章 重点的に取り組む分野

## 6つの重点分野

《低炭素型（エネルギー）》

新エネルギー

高断熱・高気密住宅

省エネルギー関連

次世代自動車関連

《循環型（リサイクル）》

バイオマス

環境保全

## 第4章 戦略展開 ～ 4つの戦略

## 戦略1 本道経済の新たな成長を牽引する産業を創る

本道の優位性を発揮し、国内外への展開も期待できる産業を集積

《新エネルギー》：新エネルギーの宝庫の強みを活かして、関連産業の立地と集積を促進

《高断熱・高気密住宅》：強みを活かしたわが国の最先進モデルとして国内外に広く発信

## 戦略2 地域の特徴を活かした産業を育てる

地域資源の活用により課題解決や活性化を図り、持続可能なビジネスモデルを構築

《バイオマス》：地域特性を活かしたバイオマスの地産地消に向けた研究開発、事業化を促進

《環境保全》：特色ある製品の開発と収益性のあるビジネスモデルづくりを促進

## 戦略3 成長産業の幅広い関連需要を取り込み参入者を拡大する

技術シーズ、取組の芽を活かして参入者を拡大

《省エネルギー関連》：産学官や企業間の連携による北海道ならではの技術の磨き上げと製品開発を促進

《次世代自動車関連》：寒冷地普及モデル実証地として製造拠点の誘致、事業者の参入を促進、需要拡大

## 戦略4 環境産業を支援する仕組みを整備する

企業やNPO、地域など様々な主体が連携し、本道の環境産業の育成・振興のための支援を図るとともに、環境の価値を重視し応援する社会をつくる

## 第5章 戦略の推進に向けて

- 工程表
- 事業者、研究機関、市町村等との連携強化
- 庁内の推進体制
- 戦略の進行管理